allcinema

新選組鬼隊長（1954）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 115分
初公開日 1954/11/22

【解説】
子母沢寛の『新選組始末記』を「火の女」の高岩肇と「竜虎八天狗」シリーズの結束信二が脚色し「蛇姫様」三部作の河野寿一が監督。絶頂期の池田屋事件から流山での終焉まで、近藤勇を中心に新選組の姿を描く。片岡千恵蔵が初めて近藤勇を演じた。
元治元年、近藤勇率いる新選組は池田屋を襲撃し、その名を世に知らしめた。蛤御門の戦いに勝ち、参謀として伊東甲子太郎を迎えた新選組は隊員を増やしたが、京の町の人々には恐れられるようになっていた。山南敬介は隊のあり方に疑問を覚え脱走するが、捕らえられ自決。盟友の藤堂も伊藤とともに、土方ら隊員たちに斬られてしまう。鳥羽伏見の戦に敗れた近藤は、これが最後の一戦と甲府へ出発するが、またもや敗北を喫してしまうのだった。

【クレジット】
監督 河野寿一
原作 子母沢寛
脚本 高岩肇
結束信二
撮影 三木滋人
出演 片岡千恵蔵
中村錦之助
千原しのぶ
喜多川千鶴
東千代之介
月形龍之介

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.